

第 54 期中央労働講座

関東地本東京支部 中山雄飛

去る 5 月 18 日～5 月 20 日、シーパレス日港福にて第 54 回中央労働講座に参加させていただきました。

講座は 4 項目で構成されており①人材不足での離職対策におけるメンタルヘルス問題、②全国港湾の成り立ち、③港労法・港湾運送事業法、④詫間港運闘争から学んだ団結の必要性、で行われました。

どの題材も、とても興味深く時間が過ぎるのが早く感じました。

4 班に分かれて行われたグループ会議も最初だけはお互い様子見でしたが、ほんの数分でどんどん意見が出てきて全港湾組合員の問題に取り組む姿勢にレベルの高さを感じました。

本来なら講義ごとに感想と意見を書きたかったのですが、長文になってしまうので印象深かった事のみになります。

港で働いていた先輩達が全国に仲間を作り法律を制定させられました。港湾労働者の地位や賃金等が向上し私たちの生活を守ってくれている事に感謝します。今の私の職場を含みますがコミュニケーションがとても必要だ！と言う事を痛感しました。私も支部・分会の方々に伝え継承していこうと思います。

最後になりますが、鈴木誠一委員長始め、鈴木龍一副委員長、畠山副委員長、橋崎副委員長有難うございました。

そして受講された皆様お疲れ様でした。